

The Y's men's Club of *Kyoto Prince*

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUB

SANJOU YANAGINO BANBA KADO NAKAGYOU-KU KYOTO JAPAN, GIP 604-8083
URL <http://www.prince-ys.com>

TEL 075-231-4388

強調月間
L T

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANES EVERY RIGHT"



Bulletin
2009. 5

2009年 5月1日号発刊
第29巻 11号
通巻281号

会長主題 (CP)

廣井武司

主題

「友情の輪を拡げよう」

スローガン

和・話・輪

WA WA WA

自分の心に拠り頼むものは愚か者だ。知恵によって歩むものは救われる。

箴言28章26

国際会長 (IP)

V. S. Bashir (India)

主題

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

スローガン

“Share with a smile” 「分かち合いは微笑をもって」

アジア会長 (AP)

Rita. Hettiarachchi (Sri Lanka)

主題

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

スローガン

“Working Together to Serve Better”

「より良き奉仕のためにともに働こう」

西日本区理事 (RD)

佐藤典子 (熊本ジェーンズ)

主題

「思いやりを持ってワイズライフを！」

“Enjoy Y's life with Consideration!”

—わかち合いは微笑をもって—

—Share with a smile—

京都部部长

藤田寿男 (京都ウイング)

主題

「意識を持って活動に参画しよう！」

—555実現に向けて—



にこにこ

4月第一例会 0円
4月第二例会 2,000円
計 63,000円



ファンド
じゃがいも 320,095円
すいか 24,200円
その他 5,128円
累計 349,423円



BFポイント
切手 0p
現金 0p
累計 0p



4月第一例会 17名
4月第二例会 19名
メーキャップ 名
在籍者数 24名
出席率 79.1%

We are family

We are family

We are family

We are family

届きにくくなった言葉～通じない心

廣井武司



今期もあと5月と6月の2カ月を残すだけとなってしまった。やり残した課題は山ほどあるが、ここでこの1年をしっかりと反省して、次期への引き継ぎをしっかりと確実に行わなければならぬ。今期の主題はメンバーの心にもどるように届いたのだろうか。例会や委員会の大切さを訴え続けてきたつもりだが、今振り返って考えてみれば、十分に皆に届いてはいないようだ。

なごやかな心で、はなしを展開して、友情と知恵の輪を広げたいという願いも、みんなに十分に浸透しなかった様子である。奉仕事業の見直しにも悩み苦しんだ1年だった。メンバー間の空気を重く沈んだものにした事業にも会長として十分に手を加えられなかったことは大きな後悔となつて、今も私を苦しめている。西日本区5月の強調月間は「リリーダーシップの文字が鋭い刃物のように胸を刺すこの頃である。会員数の少なさから生じる事業委員長への負担の重さにも課題が残る。現状の人員でできる奉仕活動に絞り込んで、とも考えてはみるが、忙しくても参加できるチャンスも多く提供して沈滞した気分にならないようにしたいという願いもあって、なかなか勇気を持つて踏みきることはできないでいたのも事実である。

こんな中で4月第2例会では京都ウエストクラブの森田恵三ワイズから「ワイズの原点とは」ワイズ読本に学ぶというテーマでお話を聞くことが出来た。スピーチの中で最後に森田ワイズから「ワイズ読本」のP.27、35、47、62、80、104、109の必読を特に勧められた。当日欠席のメンバーにも、ぜひ読まれるように願いたいものです。

5月6月あと2か月をまだ2か月もあると考えて、もう一度、みんなで見直そうではありませんか。入会式に誓った言葉を思い出して、心の中を白いキャンパスにして、みんなで色を塗ってゆく時です。

あなたの喜びも、悲しみも、苦しみも、怒りも、あなただけのものではありません。みんなが共有するものです。良質の社会人が集う奉仕クラブの意義はお互いを鏡として尊敬して親睦を深めることにあります。動けるうちはせつせと出かけてみましょう。そして多くの人たちと出会いましょう。

委員会、例会、DBC、IBC、部会、西日本区大会、みんな人と出会うチャンスです。言葉と心の交流を深めてください。

出会う人、もの、言葉。有難いものです。あわただしい日々になかなか時間がとれないかも知れませんが、自分一人でも生きられます。自分が一人の世界はやっぱり狭い。クラブでの出会いを大切に！

ウエルクラブヘメー
キヤップ



この数年で十名弱の入会者を迎え、入会後三年未満のメンバーがクラブ全体の三分の一を占めるようになりました。自分のクラブの事を早く知ること大切ですが、ワイズライフの一つの充実感として、他クラブに知人、友人がいるという事があります。そこで、入会間もないメンバーに、メーキヤップを経験していただくとうと、兼ねてから四月の第一例会は、ウエルクラブとの合同例会としていたので、クラブ全員でメーキヤップをする事となりました。当日の例会次第を見てびっくり、「第百回四月第一例会」と記されているではありませんか。「百回目と知っていて、合同例会にしたんか」と、永井会長に聞くと、「ニヤニヤ笑いながら「そうですよ」と嬉しそうに答えてくれました。

プリンスクラブから巣立って「まだ間が無い」と思い込んでいたのに・・・もう来期は、設立五周年記念例会をやるそうです。メンバー増強がままならないこのご時勢、百回目の例会を迎えることができたウエルクラブのキーメンバーの努力には、敬意を払う次第です。

さて例会の雰囲気は、プリンスの子クラブとあって、例会の流れはプリンスのそれとまったく同じ、自クラブの例会に出ているのと勘違い、進行が係のチョンボに、ついツイヤジを飛ばしてしまいました。

プリンスに比べて平均年齢が十歳以上は若くフットワークの軽いウエルと、頭ばっかかりが重くて身体が動かないプリンス、それぞれの弱点を補いあって2つのクラブが一つとなれるそんな事業は無いものかなあと。ワイズメンズクラブの将来を思う時、ポーターレスなクラブ活動、業界再編じゃないけれど、京都部のクラブが再編されてもいいのかなあと・・・いくつものクラブが、一緒になって一つの事業をする。スケールメリットを追求することも力の発揮方法の一つじゃないのかなあ。そんな事を考えている内に、例会はお開きとなりました。

第二例会



嵯維巧樹

4月15日(水)、今日の参加者は15名と少ない例会でした。

私も出席率は良くないのですが、やっぱり20名くらいの出席がないと寂しく感じます。

次期会長の金丸ワイズより、次期三役に、副会長に三村ワイズ、書記に古川ワイズ、会計に小泉ワイズの就任発表がありました。

本日のゲストスピーカは、京都ウエストクラブの入会して半年程度の私には、まだまだ何もかも分からないことだらけですが、ワイズメンの心得や志から、弱体化するクラブの原因などを聞き、大変勉強になりました。

ありがとうございました。正直、「ワイズ読本」も「ワイズ必携」も、一度も見たくて無かったもので、一度は見たいです。特に「ワイズ読本」の、P27・35・47・62・80・104・109と「ワイズ必携」の、P61・117・134・137は、必読とのこと。少年期で活字離れをしてしまった私は、現在でも本を読むことが無く、活字を読むのはとても苦手なのですが、頑張って読んでみたいと思います。

北野ワイズより、チャリティランの報告があり、昨年のチャリティランを見学に行き、身近な子供達のために活動している事に感銘し、それが入会するきっかけになったのを思い出しました。YMCAや国際的な社会貢献には、正直私は興味をもっていません。京都市の身近な子供達のための活動ができると思います。入会しましたので、今後はそのような活動ができる事が希望です。



ゲストスピーカーを招く事も見識を広げる為には必要な場合もあるかもしれませんが、そんなことよりも、例会の場で子供達に関する話し合いをもって頂き、出席されたワイズの方々への考えや意見を聞ける機会こそ必要かと思えます。森田恵三ワイズが、ワイズメンの例会とは親睦を図ることで、真髓は誇りを持てるクラブにすることと言われていましたが、プリンスクラブがもっと親睦を図り何でも言い合え、考えや意見も積極的に話し合えるクラブになって欲しいと願っています。20名程度のクラブなのに一体感を感じられないのもとても残念です。以前は、活発に活動されていたと伺っていますので、年齢や経験年数に関係なくクラブ内の融和を期待します。

DBC締結

岡西博司

東京サンライズクラブとの
DBC締結式に参加して
岡西 博司
4月25日(土)朝9時16
分の新幹線に乗って、東京に
向かって出発。



東京の霞ヶ関ビル33Fの
東海大学交友会館において、
我々のDBCの相手である東
京サンライズワイズメンズク
ラブの20周年記念祝会が開
催され、その中で、我クラブ
とのDBC締結式が持たれま
した。
我クラブからは、廣井会長、
小泉副会長、を筆頭に渡邊君
、西村君、西村メネット、嵯
維君、私岡西とメネットの合
計8名が参加しました。

行きの車中では、一緒に同
行してくれた森田京都部交流
主査を交え、今日のセレモニ
ーの段取りについて、多めに
話が盛り上がり、瞬間に東
京に到着。

1時半から、第一部の講演
会。これが今回のメインプロ
グラムである。
「永遠の命とは？」という
タイトルで、聖書の日本語訳
が間違っていると伝えている為
本場の聖書の言わんとしてい
る事が、正確に伝わっていない。
。本当はこういうことであ
る。と、講演者の毒舌に圧倒
させられ、なかなか面白い講
演であった。私も、一応クリ
スチャンの端くれである。話
の内容にはそれなりに理解で
き、充分勉強になりました。



3時15分から第二部。いよいよ締結式が始まる。会場には約
160名の人が見守っていてくれる。東西両日本区理事をはじめ
、東西両交流主任、同じく両交流主査の立会いの下、小幡交流主
任の司会で、厳かに始まったと思っただのもつかの間、やはりサン
ライズの持っているムードと言うべきか、緊張感は何処かへ飛ん
でいってしまった、笑いの中に無事締結式が滞りなく行われました
。かえって、格式ばった締結式よりも、こういう締結式のほうが良
かったように思われました。

会も終わり、別室にてIBC・DBC交流会と銘打ち、台北ユ
ニオンのメンバー、東広島クラブのメンバー共々、我々も参加し
て交流会が持たれました。
お互いの自己紹介には、多くのメンバーが英語で自己紹介する
という交流会に、これぞ、ワイズメンズクラブであると感じ入りま
した。勿論我クラブのメネットさんたちは、英語でスピーチされ
、我々も思いましたが西村君の独特の英語に、会場は笑い
に包まれ、良い雰囲気の時を過ごす事が出来感謝です。

DBC締結風景



あんたしゃべりすぎ！



東西両区理事の署名



国際大会での通訳は任せました。



佐藤西日本区理事
ありがとうございます



竹内ワイズから
国際大会のアピール



無事調印



原次期東日本区理事
今後ともよろしく



影の主役



小幡主任、森田主査音
遠いところありがとうございました。



クラブバナー交換

夜桜フェスタ

北野功治

この日は午後4時30分からの夜桜フェスタに先立って、YYFオーラムが午後2時から開催されました。テーマは「リーダーの活動を通して京都YMCAを知ろう」で、5つの活動の報告でした。最初はグローバル・コミュニティ・スタディ研修というインドを訪問して学校等の様子を実地に見聞する活動、2つ目はわんぱくチャレンジクラブという発達障がい児サポートをするプログラム、3つ目は留学生との交流と国際理解の4つ目は病院プログラム・病気の子どもはキャンピング活動、そして最後は体育リーダーのプールでの指導の報告でした。いずれも日頃熱心な活動するリーダーたちの熱意があふれ、京都YMCAの活動の意義深さが実感できました。是非いくつかでもクラブの例会で話をしてみてください、多くのメンバーによって続いて、いよいよ夜桜フェスタが始まり、挨拶の後は各クラブが自慢のおいしい食べ物食べ放題！すぐに満腹になってしまいました。ステージでは演奏等いろいろな出し物がフェスタを盛り上げました。今年作られたビデオテープの水路も披露されていました。午後7時を過ぎるといよいよ夜桜のライトアップの点灯！実にきれいでセンターの施設を知りたいへんよい機会になりました。まだリトリートセンターに行ったことのない方、ぜひ今後のオータムフェスタに夜桜フェスタに参加して下さい。



新たなIBCに締結に向けて

渡邊公生



3月16日から27日までハワイに行ってきました。目的は休暇、今年は正月も休まずに仕事をし、また4月から当分の間休むことができずにもないということで、急遽行くことを決め、旅行会社にエアナーなどの予約を取った後、ハワイのメンバーへ訪問することを知らせました。いつもより少し長めの滞在でしたので、昨年会えなかったアヌクラブのメンバーとの時間を多く取る日程にしました。



アヌYMCAが本年度目標としていたファンド資金、その表彰式の例会でした。目標金額は14万ドル。残念ながら不況で目標金額には達成しなかったようですが、それでも70%近くまでは獲得できたようです。アヌYMCAに訪問したとき、その施設の充実振りには驚いた。ランニングマシン、プール、運動場、ウエイトトレーニング施設も半端じゃない。どの程度までがワイズが支えているのかまでは今回は聞けなかったが、ドネーションの金額は京都では考えにくいものだろう。例会に花を添えてくれたのがかわい子供たちのフラと、その年の差なんと65歳のおばあちゃんのフラ、ホテルなどに見るフラダンスとはまた一味違うフラダンスを見て感激した二人でした。

例会は2時間程度で終了し、ホテルへとメンバーに送っていただきました。一日おいて、ウエストオアフクラブに訪問しました。同クラブのオサコダ氏が Millani YMC A の見学をさせてくださいました。Millani YMC A を職員であるウエストオアフのメンバーが説明してくれました。ここではアフターランディアが面倒を見ている。



プールはもちろん、運動施設は充実している。また所有するスクールバスも2台ある。その活動を支えているのは、ドネーションである。アヌに比べてドネーションの金額は少ないがそれでも4万ドルに達する。寄付の国だからということもある。また、高齢者のために、京都部のように、体での奉仕はできないともいつていた。

どちらにしても、京都では考えにくい奉仕の仕方といえるかもしれない。夜のミーティングが開かれ、プリンスとの締結に向けて少し相談をいたしました。私の役目は公式ではないのであくまでも個人の意見として話させてください。5月のハワイ大会に出席予定の森、西村両君の露払いをする格好になりました。アヌクラブの桑原氏から、私が環境問題に取り組んでいるのを知り、ハワイの電気事情について少々お話を頂くことができました。観光都市のハワイ、さすがにその環境を守るための努力はしているようです。しかしアヌクラブのメイさん、ラリーさんと食事をしていました。出された牡蠣を見て、「昔はこの辺で採れたんですけど、今では危険で食べられない、この牡蠣は本土からのものです。」と聞かされびっくり。話では島の農業で使う農薬で土壌が汚染されそれが雨で海に流れ込み、人体に対しての影響は無いというものの、近海の海の牡蠣は食べられないということでした。「うん、複



「ワイズは楽しい」

3月第一例会で隣り合わせになった嵯維君と何気なしに話をしていた、嵯維君、メネットのお二人が偶然にもハワイに行くということを知り、「いつからいつまで」と聞いたところ、「3月13日から3月16日まで、17日に帰ります。」ということ、

私たちは16日に到着するのでその日の夕食を一緒に食べよう」と意気投合、今回の旅行がより楽しくなりそうな気がしました。旅行がより楽しくなっていました。

私たちが16日に到着し携帯で連絡を取り、待ち合わせ場所へ行くとしばらくしてお二人がこられ、初めてお会いするメネットさんと、家のハニー（メネットのことです。）とも気が合ったようで、内心ホッとしていました。

当日3月16日は私たちの34回目の結婚記念日で、それに花を添えてくれたお二人でした。本当に楽しい時間は一瞬の瞬きのようにです。不思議だなあ、例会ではメンバーと話することもありませんでしたが、旅先での食事は旧友に会ったような気持ちになり、「もつと話していたいなあ」と思うほど楽しい時間でした。（私だけがもしれませんが）折角のお二人の時間を取った感じがしますが、私たちはお二人のおかげで楽しい結婚記念日が迎えられる。お二人と別れ際に私のメネットが日本へ帰ってからもあえることを楽しみにしていたのが印象的でした。

お二人に感謝、そしてあらためて人の縁は異なるものと感じたひと時でした。（もしもワイズでなければこんなことはありえない）



京都YMCAからのお知らせ

「愛の反対は憎しみではなく無関心です」

この言葉はマザーテレサの名言としてよく知られています。私たち自身も、社会の課題に目を向けず、身近に起こっていることに無関心を装うこと、見てみぬふりをしてしまうことがあります。「愛すること」、「隣人のことを思い共に生きること」を改めて考えさせられるメッセージです。

さて、今日の社会においては、この「共に生きること」が求められているにもかかわらず、社会的弱者である方々への支援としての事業である、高齢者の方や心身に障がいのある方々を対象とした福祉事業に従事される「人材の確保」が難しいとされています。労働条件の厳しさなどが大きな要因とも言われています。

京都YMCAでは、その人材の養成期間として専門学校では、介護福祉学科、社会福祉学科をもち、更にはホームヘルパーの養成講習会などを行っています。

ボランティアビューロでは、「介助」に関連したセミナーなどが開催されています。ボランティアとして、更には私たちの身近な問題として啓発を行っています。

勿論、幼児・小学生すべての活動においても「共に生きること」をプログラムの大きな目標としてあげ様々な取り組みがなされています。

5月に実施されます「かもがわチャリティーラン」は障がいのある子どもたちに、多くの自然のなかでの豊かな活動をして頂きたいとの願いから、全国のYMCAで始まりました。

このチャリティーランが、関わるすべての人にとって「共に生きることの大切さ」と「喜び」が感じられるプログラムとなりますようお願いいたします。

1. 定期会員総会のご案内

日時 5月30日(土) 午後5時～

場所 京都YMCA三條本館マナホール

会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。

お問い合わせ 電話(075)231-4388

2. 障がいのある子ども達のための第5回京都YMCAかもがわチャリティーラン

チャリティーランは、YMCAが提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費や協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

日時 5月17日(日) 午前9時～午後3時 雨天決行

場所 鴨川公園(特設コース: 北大路橋～出雲路橋 1週1.7km/北大路橋～菟橋 1週3.08km)

種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000円) / グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円) /

一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円: 学生・生徒1名1,000円) /

親子ペアラン(1チーム1,000円)

スポンサー募集

趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口 10,000円(企業・団体)

一口 5,000円(個人)

3. YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。

全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時

キャンプ・デイキャンプ

会員 6月9日(火)～10日(水) 受付時間 午前10時～午後7時

会員・一般 6月11日(木)～ 受付時間 午前10時～午後7時

電話 (075) 231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

会員先行申し込み期間の6月9日(火)～10日(水)の期間に限り電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX (075) 251-0970 / campmoushikomi@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール・鉄棒・とび箱が好きになる教室

会員 6月5日(金) 午前10時～

会員・一般 6月5日(金) 午後2時～

電話 075-255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

お問い合わせ 電話 (075) 231-4388

4. ボランティアセミナーのご案内

①聴くこと、話すこと

「人はなぜ苦しいとき、話を聞いてもらうだけでも楽になれるのか」その疑問に答えるために、「話すこと」について「苦しみの精神構造」から考えていきます。さらに、苦しみを抱える人の話を聴く方法、グループでの話し合いを進める方法に迫ってみましょう。

講師 佐藤泰子
[京都大学大学院 人間・環境学研究所 人間社会論講座 人間形成論分野 精神分析学 新宮研究室]
日時 5月9日(土) 午後7時～9時
場所 京都YMCA(三條柳馬場)
定員 30名(先着順)
参加費 500円

講師 佐藤泰子

[京都大学大学院 人間・環境学研究所 人間社会論講座 人間形成論分野 精神分析学 新宮研究室]

日時 5月9日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三條柳馬場)

定員 30名(先着順)

参加費 500円

②がん患者さんとそのご家族へ 第26回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 5月16日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三條柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

①②ともお申込は京都YMCA 電話(075)231-4388

5月の予定

6日(水) ファミリー例会
近江八幡方面

17日(日) YMCAチャリティーラン

20日(水) 第二例会(通常例会) 19:00～21:00
グランドプリンスホテル京都

22日(金) 三役会 廣井会長宅

27日(木) 役員会 京都YMCA

6月の予定

3日(水) 第一例会(通常例会) 19:00～21:00

グランドプリンスホテル京都

6日(土) 日本区大会 熊本 (1日目)

7日(日) (2日目)

20日(土) 引継ぎ例会 19:00～21:00

グランドプリンスホテル京都

日(金) 三役会 廣井会長宅

日(木) 役員会 京都YMCA

役員会報告

ハッピーアニバーサリー



5日 永濱佳恵メネット

16日 金丸奎介コメット

17日 三木貴夫君

31日 式部左近君

ハッピーバースデー



1日 磯谷康夫君・

2日 西村 博 君・

9日 式部左近君・

20日 小泉 洋君・

